

日本文学研究ジャーナル

Academic Journal of Japanese Literature

特集 中世の日記 —文学・歴史からのアプローチ— (編集/田淵句美子・谷 知子)

2017年6月
第2号
目次

巻頭エッセイ 日記と文学・歴史

五味文彦……………2

『明月記』原本の特異性 — 芸術作品としての日記原本 —

尾上陽介……………7

『源家長日記』における具親召籠事件について

木下華子……………22

歌枕「八橋」と「鳴海」 — 和歌・日記の旅 —

谷 知子……………37

『建礼門院右京大夫集』の叙述姿勢

— 家集編纂時の日記的視点に注目して —

丹下暁子……………51

『とはすがたり』巻五の後深草院の御影をめぐる表現

高木 周……………61

『弁内侍日記』大内裏の雪を詠む和歌

芹田 渚……………75

中世後期の女性の日記 伝『大外記中原師生母記』について

遠藤珠紀……………87

声の禁忌 — 女房の領域と制約 —

田淵句美子……………100

連載 日々は探索〜古筆切・写本・たまに版本〜第一回

西行・寂蓮の「新出」歌？

— 伝光顕画・後光厳院筆『西行物語絵巻』断簡 —

久保木秀夫……………117

イラスト/須貝稔